

年 組 名前：

# アプリで観光満足度向上

店舗に接近↓割引クーポン表示



MAPへの掲載  
ユーザーの動きに基づいて、  
自動でMAPが切り替わる。



記事広告への掲載  
ユーザーの現在地に基づいて、  
最適な場所の記事広告配信。



クーポンの配信  
店舗の200mに入ったタイミングで  
自動でクーポン配信

## 推進機構が実証実験

やまなし観光推進機構は、アプリの企画運営を手がける「wowp（ワイプ）」（東京）が開発した観光アプリを使った実証実験を行っている。アプリでは飲食や土産、体験などの店舗や施設に近づく商品やサービスの割引クーポンが表示される。主要観光スポットの周辺にも観光客が足を延ばすきっかけをつくることで、県内観光の満足度向上を図る。

〈山本就仁〉

機構と会社によると、実証実験の期間は2月21日～5月31日。スマートフォンにアプリをインストールした観光客が、事前登録された飲食店や土産店、美術館などの原則半径200m以内に入ると、店舗で使える商品やサービスの割引クーポンが表示される。機構は「観光客が集中する有名スポットの近くにある店舗にも足を運んでもらう効果が期待できる」と話す。

位置情報から周辺エリアの店舗、施設で提供しているスマートフォンアプリを使った実証実験のイメージ図

板メニューなどの情報を紹介する広告記事も表示される。ユーザーが「食べる」「遊ぶ」などテーマを絞り、該当する店舗、施設の情報を出出することもできる。

機構は実験で集積した、広告記事やクーポンの閲覧数、アプリを起動したり、閉じた場所などのデータを分析する。情報発信が観光客の行動にどのような変化をもたらしたかを検証することで、担当者は「観光課題の解消のヒントを探っていく」と話している。

アプリ上で店舗の表示を希望する事業者は、wowpに登録を申し込む必要がある。機構と会社は、アプリで広告記事とクーポンを無料で掲載できるキャンペーンに参加する県内事業者を募っている。3月21日までに専用フォームから申請する。

無料掲載は実験期間中のみで、6月1日以降の掲載を希望する場合は別途料金が発生する。

(2025年3月7日付 山梨日日新聞7面)

問1 やまなし観光推進機構が、観光アプリを使った実証実験を行っている理由を教えてください。

.....

問2 アプリをインストールした観光客は、どのような行動を取るとサービスを受けられますか。

.....

問3 機構はこの実証実験で、どのような情報を分析し、何につなげたいと話していますか。

・分析する情報：.....

・つなげたい事：.....